

News & Information

2013/9/6

〔新規パイプライン追加のお知らせ〕

この度、当社の新しい研究開発テーマとして、下記3つのパイプラインを追加しましたのでお知らせ致します。

1	PC-SOD NE (吸入製剤) 開発コード：LT-0011	対象疾患：慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
概要	<p>PC-SOD NE は、今のところ特発性肺線維症を対象疾患として研究開発を進めておりますが、この度 COPD (慢性閉塞性肺疾患) を対象疾患として新たに研究開発を開始しました。COPD は、WHO (世界保健機関) 発表の死亡原因第4位の疾患であり、年々その死亡率は上昇の一途をたどっております。それに加え、病状が極度の呼吸困難に陥るため「死よりも恐ろしい病気」として知られております。現在の治療法として気管支拡張薬 (抗コリン薬、βアゴニスト等) とステロイド等の抗炎症薬が併用されておりますが、根本的な治療には至っていないため、生命予後を改善する新しい治療薬が強く望まれています。COPD の原因は炎症部位で産生された活性酸素による組織障害です。当社の PC-SOD は、この活性酸素を除去する SOD の細胞親和性と血中安定性を高めた製剤であり、動物実験においてステロイド等の既存薬より優れた治療効果を示しました。</p> <p>また、同製剤は独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) による「平成 25 年度ベンチャー企業への実用化助成事業」のテーマに採択されております。</p>	
ステージ	<p>PC-SOD NE は、既に特発性肺線維症を対象疾患として非臨床試験及び第 I 相臨床試験でその安全性が確認されて現在は第 II 相臨床試験中であるため、適応拡大となる COPD では第 II 相臨床試験からのスタートとなります。今後、第 II 相臨床試験で有効性が確認された場合、製薬企業へのライセンスアウトを目指して参ります。</p>	

2	ステルス型ナノ粒子 PGI2 製剤 開発コード：LT-0111	対象疾患：肺動脈性肺高血圧症（PAH）
概要	<p>心臓から肺に血液を送るための血管を肺動脈といいますが、この肺動脈の血圧が異常に上昇するのが肺高血圧で、進行すると死に至る希少疾患です。国内の患者数は平成 20 年に 1,140 人とされていますが、年々患者数は増加しており、新規治療薬が求められています。</p> <p>現在、PGI2 あるいはその誘導体の補充療法が PAH 治療に有効であるとされていますが、既存の PGI2 製剤は代謝時間が極めて早く、連続投与が必要であるために患者様にとって大きな負担となり、肺以外の血管拡張による体血圧低下の副作用も懸念されます。これらの点を、当社の持つ DDS 技術であるナノ粒子化により持続性を高め、同時に副作用軽減を行います。</p>	
ステージ	同製剤は基礎研究段階にあるため、今後、動物モデルでの評価が良好であった場合、非臨床試験を実施して参ります。	

3	COPD 治療薬 開発コード：LT-0302	対象疾患：慢性閉塞性肺疾患（COPD）
概要	<p>当社の推し進めるドラッグ・リポジショニング（DR）研究により、40 年以上の使用実績のある消化管運動改善薬を COPD の動物モデルに経気道投与すると、炎症や肺気腫を顕著に抑制することが確認されました。また同製剤は、既存薬と同程度の気管支拡張作用も併せ持つことが確認され、気管支拡張作用と抗炎症作用を併せ持つ世界初の医薬品となる可能性を持っています。</p>	
ステージ	同製剤は基礎研究段階にあるため、今後、動物モデルでの評価が良好であった場合、非臨床試験を実施して参ります。	

以 上